

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 綾町立 綾中学校

種別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫教育
☒ 中学校 ☐ 高等学校 ☐ 中高一貫教育
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育
☐ 特別支援学校 ☐ その他（ ）

住所 〒880-1302

宮崎県東諸県郡綾町大字北俣497-1

E-mail：s-inoji@live.jp

Website：http://cms.miyazaki-c.ed.jp/4147/

児童生徒数：男子89名 女子 107名 合計196名

児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☐ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☐ 平和・人権
- ☒ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☒ エネルギー
- ☐ 防災
- ☐ 食育
- ☒ 伝統文化
- ☒ そのほか（キャリア）

3. 活動内容

（1）1年間の主な活動内容について記載願います。

本校は、新校舎建築に伴い、「今日が楽しく、明日が待たれる宇宙一すてきな Team Aya Cosmos」というビジョンのもと、ユネスコエコパークである本町の地域コミュニティ創造の中核となる公共機関としての取組を行っている。

《グランドデザイン》

本校は昨年度からユネスコスクール（合わせてキャリア教育実践校、JRC実践校等）として、「『持続可能な社会の担い手』としての生き方を真剣に探究していく子どもたち」～未来に向けてはじける子どもたち・宇宙的視野から考える子どもたち～を育む取組を行っている。

その一環として、いくつかの学校行事を核にした、3年間のストーリーのある探究的な総合的な学習の時間に取組んでいる（図1参照）。



図1 グランドデザイン

入学した子どもたちを、義務教育を終える時点で、「持続可能な社会・故郷・地球の担い手」にするために、本校における様々な教育活動を、「キャリア」「生き方」という観点から、「総合的な学習の時間」を中核にリンクしていこうとする研究に取り組んでいる。

昨年度から取り組み始め、現在も実践しながら創造している段階なので、完成形として「こうしました」という形ではなく、現在進行形で「こうやっています」という状況である。

本校における総合的な学習の時間は、「2040年の命に向けて～母なる地球、ふるさと綾、そして、自分～」というテーマを設定し、「母なる地球」「ふるさと綾」「チーム綾中」という三層をフィールドとして、探究的な教育活動を展開している。

現在、「2040年、つまり、生徒が約40歳になったときに、先人からいただいた『命』、すなわち、母なる地球、ふるさと綾、そして自分を、次の世代に今以上にステキな『命』として、引きついでいけるように」というコンセプトのもと、学習を展開している。

具体的には、次の三つの下位の探究テーマを設定し、学習を展開している。

- ◇ 「自然への探究」… 第1学年
- ◇ 「人への探究」… 第1学年～第3学年
- ◇ 「自分への探究」… 第3学年

その際、各探究テーマにおける中核となる学校行事は、次のとおりとなる。

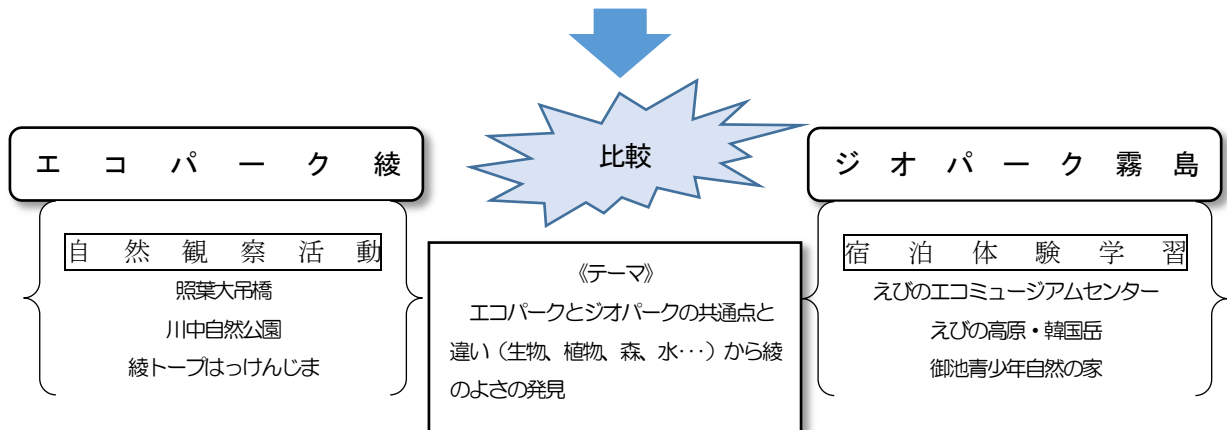
- ◇ 「自然への探究」… 宿泊体験学習、校外学習
- ◇ 「人への探究」… 自主研修、綾人体験学習、立志式
- ◇ 「自分への探究」… 地域・地球貢献

《3年間のストーリー》

現時点での、「2040年の命に向けて」というテーマのもと「自分の生き方」を探究する「総合的な学習の時間」（「てるはの時間」）の3年間のストーリーを以下に示す。

～Search for Nature (自然への探究)～

自然と共生するまち「綾」を探る！



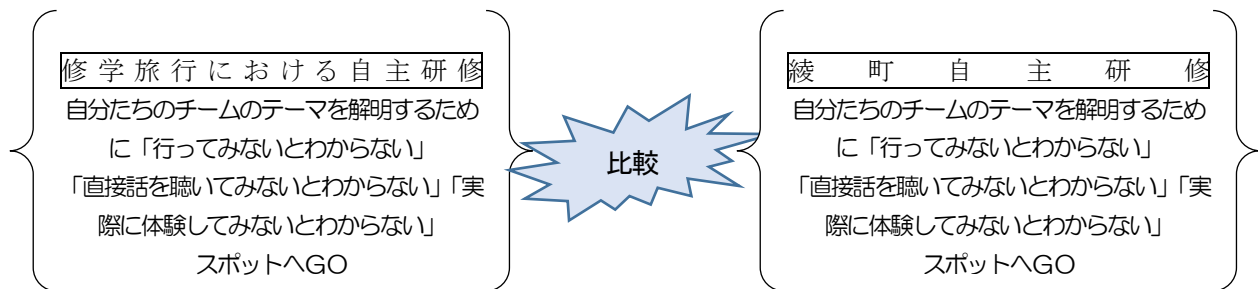
文化祭・シンポジウム

壁新聞作成・ポスターセッション・研究発表

校外学習

～Search for Human (人への探究)～

世界的観光都市京都の謎を探る！



【グループ名】出撃の調査生徒団
【テーマ】京都の町並みと歴史 ～なぜ京都は美しい環境を保てるのか？～
【研修場所・内容・方法】
◇祇園 ～ 昔からの町並みを写真に撮る。
◇新撰組王生屯所 ～ 京都を守った新撰組について調べる。
◇京都市役所 ～ 都市計画景観政策課、循環型社会まち美化推進課、ごみ減量推進課において聞き取り調査を行う。

【グループ名】出撃の調査生徒団
【テーマ】どうすれば綾の町並みをさらに美しくできるのか？ ～京都市の景観から学ぶ～
【研修場所・内容・方法】
◇綾町役場 ～ 建設課において聞き取り調査を行う。
◇綾町 ～ 現在の町並みを写真に撮る。

{ 文 化 祭 ・ シ ン ポ ジ ウ ム }

レポート(新聞)作成・ポスターセッション・研究発表



本気で生きている人と本音で語る！

{ 立 志 の 集 い }

さまざまなジャンルから、今を本気で
生きているステキな大人と本音トーク

ス テ キ な 綾 人 に 学 ぶ ！

{ 綾 人 体 験 学 習 }

ふるさと綾で真剣に生きている綾人から、自分の
生き方と照らして学びたいと思う人を探し、
その人の「家族への想い」「仕事にける想い」「綾
への想い」等「生き方」を丸ごと体験



～Search for I (自分への探究)～

2040年の命に向けて今できることは？

{ 地 域 ・ 地 球 貢 献 }

これまで学んだことをもとに、すてきな2040年にするために、
「母なる地球」「ふるさと綾」そして、「つなぐ命」のために、今自分ができることを考え、実践



{ 文 化 祭 ・ シ ン ポ ジ ウ ム }

壁新聞作成・ポスターセッション・研究発表・自己表現(演劇・綴り方)



2040年の命に向けて進むべき道は？

{ 生 き 方 を 見 つ け る }

これまで学んだことをもとに、ステキな2040年にするために、
将来を見据えた進路決定

《「問い」の流れ》

～Search for Nature（自然への探究）～

自 然 と 共 生 す る ま ち 「 綾 」 を 探 る ！

- ① なぜ綾がエコパークに選定されたのか？
- ② エコパーク綾とジオパーク霧島について知りたいことをまとめテーマを設定しよう。
- ③ 自然観察活動を通して綾の魅力を探ってみよう。
- ④ ジオパークの霧島を訪れ、テーマを探究しよう。

【 宿 泊 体 験 学 習 】

- ⑤ エコパーク綾とジオパーク霧島について学んだことを整理しよう。
- ⑥ あらためて、「ふるさと綾」のステキさを見つめなおそう。
- ⑦ 体験学習を通して循環型社会について探ろう。

【 校 外 学 習 】

- ⑧ 校外学習について学んだことを整理しよう。
- ⑨ 「ふるさと綾」の未来のために考えるべきことはなんだろう。

～Search for Human（人への探究）～

世 界 的 観 光 都 市 京 都 の 謎 を 探 る ！

- ① 綾がもっとステキな町となるには、どうすればいいだろうか？
- ② 日本の中で、ステキな町はどこがあるだろう？
- ③ なぜ京都にはあんなにたくさんの観光客が世界中から集まるのだろうか？
- ④ 京都にたくさんの人が集まる秘密はなんだろう。予想してみよう。

- ⑤ 京都の何を調べたいかテーマ(「問い」)を設定しよう。
- ⑥ 具体的にどんな視点から調べればよいか考えよう。
- ⑦ 京都に行かないと解明できないことはなんだろうか？
- ⑧ 自分たちのテーマについて、ふるさと綾について地域の方々から学ぼう
- ⑨ 自主研修での訪問先と打合せをしよう。

【京都自主研修・綾町自主研修】

- ⑩ 実際に行ってわかったこと、自主研修で学んだことを整理しよう。
- ⑪ あらためて「ふるさと綾」のステキさを見つめなおそう。

本 気 で 生 き て い る 人 と 本 音 で 語 る ！

【立 志 の 集 い】

ス テ キ な 綾 人 に 学 ぶ ！

- ⑫ 「ふるさと綾」をもっとステキにするために、「ふるさと綾」に生きる地域の方々から学んでみよう。
- ⑬ 「ふるさと綾」で真剣に生きているステキな「綾人」を探してみよう。
- ⑭ ステキな「綾人」の中から、自分がどうしても学びたい人を見つけよう？
- ⑮ 自己プロフィールを作ろう。
- ⑯ ステキな「綾人」のプロフィールを調べよう。
- ⑰ 綾人体験活動での訪問先の方と打ち合わせをしよう。

【綾人体験学習】

- ⑱ 「綾人」から学んだこと、自分の生き方に生かせることを整理しよう。

～Search for I (自分への探究)～

2040年の命に向けて今できることは？

- ① 自分の未来を設計してみよう。
- ② 自分の進路実現に向けてすべきことを考えてみよう。
- ③ これまでの学習を踏まえて、「母なる地球」の一員として、
「ふるさと綾」の一員として、どんな生き方をすることが大切だろうか？
 - a 2040年の地球のために、今自分はどう生きるべきかを考えて、実践しよう。
 - b 2040年の綾のために、今自分はどう生きるべきかを考えて、実践しよう。

【地域地球貢献】

2040年の命に向けて進むべき道は？

- ④ 2040年の自分のために、義務教育を終えるに当たって
どう生きるべきか考えよう。

【生き方を見つける】

《全体カリキュラムの構想》

また、「てるはの時間」を中核にして、各教科、道徳、特別活動等学校のさまざまな教育活動を関連付ける研究を進めてきた。その結果、現時点で図2のような全体カリキュラムを作成した。

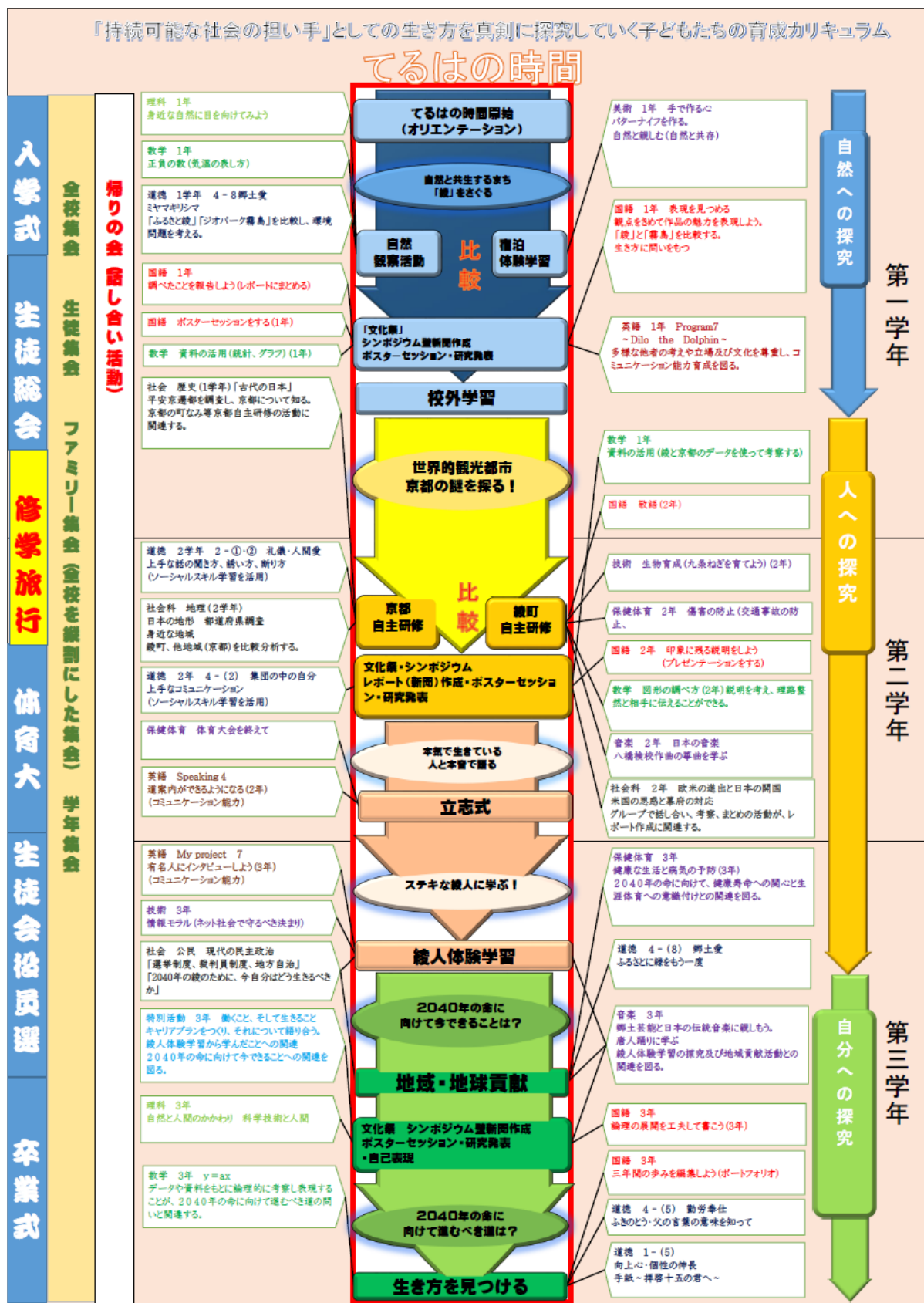


図2 全体カリキュラム

《研究成果の公表》

研究の成果を、平成27年11月6日に本校で開催された「第52回全九州中学校進路指導・キャリア教育研究大会宮崎大会」で授業として公開した。九州各地から約300人の現場の先生方がおいいただき、私たちの取組について多くの励ましの言葉をいただくとともに、私たちがめざしている教育の在り様について多くの方々に共感していただくことができた。

また、平成28年2月に、これまでの取組みの成果を町民の皆さまを始め、多くの方々に知っていただく活動として「2040年の命に向けて」シンポジウムを開催した。本校をはじめ、綾小学校、大牟田市の吉野小学校、気仙沼市の階上中学校に参加していただき、実践発表と、パネルディスカッションを行った。

「2040年の命に向けて」シンポジウム

「母なる地球」「ふるさと」に住む一人の人間として「何を大切に考えるべきか」、次の世代に素敵な地球、そしてふるさとをプレゼントするために「どう生きるべきか」について、一人ひとりが本気で考え、語りあうことをとおして、今自分が生きている意味について、みんなで考えましょう。

《進行》綾町立綾中学校生徒会副会長 後藤 祥太

◇ オープンセレモニー

13:30-13:40

- あいさつ ～ 綾町立綾中学校生徒会会長 綾 凜太郎

◇ 活動報告 ～ ユネスコスクールとしての活動についての報告 ～

13:40-14:40

- a 綾町立綾小学校
- b 大牟田市立吉野小学校
- c 綾町立綾中学校
- d 気仙沼市立階上中学校



～ 休息 ～

14:40-14:55

◇ パネルディスカッション ～ 「2040年の命に向けて今できることは？」 14:55-15:55

- a 気仙沼市立階上中学校生徒会会長 菊田 和奏
- b 綾町立綾中学校生徒会副会長 岩本 樹奈
- c NPO法人みんなのくらしターミナル代表理事 初鹿野 聡

初鹿野 聡氏は、フォーラムの開催や地域活動支援・相談活動、過疎地域の共同作業の支援等、地域住民が自ら行うきめ細かい「地域づくり」活動を支援するとともに、人・組織・分野・地域などを横断的につなぐ広域ネットワークの輪を広げることにより、これからの地方主権時代に即した支え合いつむぎ合う地域社会を再構築する活動に取り組まれています。

その活動は県内にとどまらず、東日本大震災における復興支援に継続的にかかわるとともに、全国各地から、防災、防犯、地域づくり等について講演やアドバイザーを依頼されるなど、地域創生時代における重要な人物の一人です。

- d 綾中学校校長 猪野 滋

◇ ネクストディメンション

15:55-16:05

- あいさつ ～ 綾町立綾中学校生徒会会長 綾 凜太郎

「2040年の命に向けて」シンポジウム

【プロフィール】

《綾町立綾小学校》

綾小学校は、ユネスコスクールとして、持続可能な地域や循環型社会の一員となる児童の育成を目指した研究を行っています。

4年生では、「環境」をテーマに、様々な体験活動を通して、照葉樹林を中心とした綾の自然と人々とのかかわりについて学んでいます。

今回、「守ろう！ぼくらのふるさと綾」について、4年生の8名の子どもたち（柿内亜衣さん、小原諒馬さん、中野明美里さん、富永真睦さん、鬼村 光さん、藤山咲音さん、新宮領哲平さん、杉山龍義さん）に報告していただきます。

《大牟田市立吉野小学校》

吉野小学校は、ユネスコスクールとして、「生命」、「エネルギー・環境」、「国際理解」の3点をテーマとし、持続可能な開発のための教育の研究を行っています。

5年生では「吉野小桜プロジェクト」を中心に、地域の方と交流しながら、吉野小学校校区の環境作りに取り組んでいます。

今回、「吉野小桜プロジェクト」について、5年生の6名の子どもたち（古賀万尋さん、中園 碧さん、北本陽菜さん、古賀慶志さん、東紫陽さん、池下勇吾さん）に、報告していただきます。



《綾町立綾中学校》

綾中学校は、「2040年の命に向けて～母なる地球、ふるさと綾、そして、自分～」というテーマを設定し、「母なる地球」「ふるさと綾」「チーム綾中」という三層をフィールドとして、「自然への探究」「人への探究」「自分への探究」というストーリーのもと、「てるはの時間」を展開しています。

2年生は、「人への探究」の一環として、1年生後半から「世界的観光都市京都の謎を探る！」をテーマに、ふるさと綾と京都を比較し、自ら設定したテーマについて探究活動を行ってきました。

今回、「まちづくり」をテーマに、探究活動を行ってきた3名の子どもたち（佐藤萌音さん、富永美佑さん、本田真妃さん）に、報告していただきます。

《気仙沼市立階上中学校》

階上中学校は、ユネスコスクールとして、「防災教育」に積極的に取り組んでいる学校です。そのすばらしい取組みは、防災甲子園優秀賞、ユネスコスクール大賞等を受賞するなど、国内外から高い評価を受けており、平成27年3月14日～15日に開催された第3回国連防災会議パブリックフォーラムにおいて実践発表しております。本年度はフランスで開催されたユネスコ本部気象変動会議にも招聘されております。

「私たちは未来の防災戦士」～『自助・共助・公助』の学びと『つながり』の大切さを通して～というテーマのもと、総合的な学習の時間において、ESDとしての防災学習に取り組んでいます。

今回、その取組みについて、生徒会長の菊田和奏さんに、報告していただきます。

《今後に向けて》

現在ユネスコスクールとしての取組みを始めて2年が経過したところであり、まだ研究の途上にある。現在の1年生が本校を卒業する時期をゴールとして、全職員が一つのチームとして、持続可能な社会の担い手としての生き方を真剣に探究していく子どもたちの育成に向けて、和気あいあいと楽しく取り組んでいきたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

■ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

☐ 時間外活動の時間を使用

☐ ユネスコクラブの活動として実施

☐ その他（ ）